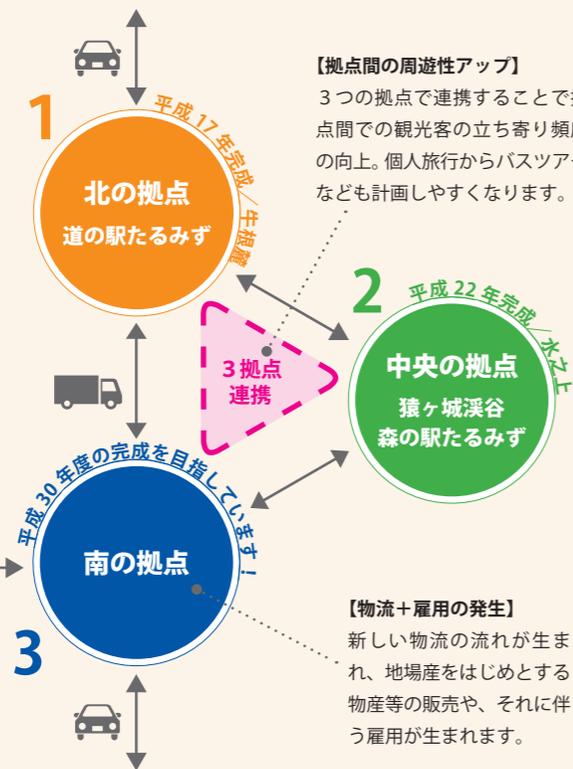


南の拠点のキーパーソン



迫田 和文
(さこだかずふみ)
垂水市企画政策課主査。
南の拠点づくり担当者の一人。



キーパーソンに聞く

なんのために南の拠点を
作るのか？

Answer

観光・雇用等を
生み出し、経済
の活性化を図る
ためです。

Discover Tarumizu, Branding Local Communities
—不定期連載—
南の拠点
の軌跡を追う

新しいモノや発見は、人や街にこれまでに無かった活力や潤いをもたらしてくれます。まちの活性化には、「新しいモノを生み出すこと」と「それに関わる人の情熱」が必要不可欠です。今月から、地方創生における「新たな拠点づくり」について、お知らせしてまいります。

第1回

新たに挑む
魅力ある
拠点づくり。

全国で展開される地方創生の動き。
そんな中、垂水市では、
通称「南の拠点」と呼ぶ、
新たな拠点づくりを進めています。

浜平地区
別館江洋館から
給食センターの間
国道220号から
海側で計画。

◆現在進めている新しい魅力拠点づくり「南の拠点」の基本構想イメージ①（初期イメージ）



経済の活性化を図る

では、なぜ南の拠点を
作る必要があるのでしょうか。
ポインタは、地方創生にありま
す。国は、人口減少の克服と

地方創生のため、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、総合戦略を策定しました。これにより、自治体では、地域の魅力を活かした計画を作ることが努力義務とされました。

迫田「人口減少は、地域の経済活動の衰退や労働力不足を招きます。垂水市では、この状況を打破するため、南の拠点を整備し、『観光』と『雇用・人材育成』による経済活性化を図ります。観光による経済活性化とは、北の拠点、中央の拠点と連携し、周遊性（観光客の立ち寄り頻度の向上）を高め、交流人口を増やすことです。雇用・人材育成による経済の活性化とは、特産品のブランド力向上や広告宣伝・人材育成等を行う機能を整備し、雇用や創造を促進し、市全体の「稼ぐ力」の向上を図るものです。これらの取組により国と地方が抱える課題の打破を図ろうと考えています。」

キー
パーソン
に聞く

拠点の内容はどんなもの？
北・中央拠点と何が違う？

Answer

自治体だけでなく、市民や民間事業者等とパートナーシップを結ぶことで、従来にはない魅力的な場所を目指します。

◆基本構想イメージ②／浜平地区南側から見たイメージ



◆基本構想イメージ③（海岸イメージ）



◆基本構想イメージ④（情報発信内観イメージ）



【現時点でイメージする施設概要】

市民と民間事業者等とパートナーシップを結んで行う施設整備手法を検討中です。

●エリアイメージ1

- ◎食を楽しむ機能（フードコート等）
- ◎物販機能（特産品の購入など）と6次産業化と連動した施設機能
- ◎トレイ・休憩機能

●エリアイメージ2

- ◎公的機能を持つエリアとして、消費者が求める（ニーズ）商品開発や創業支援や、創業支援を行う機能や、道路情報や観光情報等の魅力を発信するプロモーション機能等

これまでの取組状況

南の拠点づくりでは、これまでに土地所有者への事業説明と事業同意のお願いを行

キー
パーソン
に聞く

現在、どこまで進んでいるの？
完成時期と進捗状況は？

Answer

平成30年度の完成を目指し、地元住民や予定地の土地所有者、関係機関との協議やセミナーを進めています。

基本構想を作成するにあたり、ヒアリング（聞き取り調査）や、平成28年6月5日には説明会を行いました。また、垂水市商工会や垂水市観光協会において、事業概要の説明を行いました。事業実施には、何よりも地元の皆様からのご支援が必要となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

建設予定となる浜平地区の土地所有者の皆様のご理解なくして、本事業の推進はありません。6月に実施した説明会を皮切りに、全国に点在する土地所有者の皆様との協議を進めています。その他の現場立会等で、力強い励ましのお言葉をいただいております。

整備推進にあたり、国や県との協議を進めています。国や県が進めている事業との連携や補助金などを活用するために、それぞれの視点からの意見やアドバイスを参考に、広い視野でのまちづくり、地域振興を目指しています。

◆垂水地域レビュー支援事業／垂水の地域産品を専門家の視点でチェックし、評価機会を設けることで改善・改良に役立てようとするものです。今回は市内12団体23商品を対象に実施しました。

◆商品力向上スクール事業
市場競争力のある商品をつくるため、商品の開発、製造、販売、交渉など、集中的なスクールを開講し、6次化の人材育成と地域企業の実践力を高めるものです。

い、現在も継続して行っています。また、整備推進にあたり、現時点での施設イメージ等の基本構想を基に、国や県、金融機関等との協議を重ねています。さらに、建設予定地である浜平の現状把握や分析を行い、基本構想で設定した機能やニーズに対応できる施設配置の計画を行うとともに、施設整備における民間資金の活用可能性の調査や、地元事業者を対象とした、地元産品の商品力向上のセミナー等を開催いたしました。

つまり、現時点では、基本構想を基に、専門家からのアドバイスを受けながら、地域住民や土地所有者、国、県、金融機関、民間事業者等、本事業に関連する皆様との対話や協議を重ねている段階となります。今後、市民の皆様には、不定期ではございますが、広報誌を通じて進捗状況をお知らせしてまいります。

1 **まずは地元の理解が大事**
地元住民
浜平地区を中心に
地元事業者等

2 **理解無しには前に進めない**
土地所有者
全国に点在する
所有者等

3 **戦略的・地域振興が大事**
国・県
各事業連携や補助
金等の活用等

4 **民間活用を活かす**
民間事業者
専門的ノウハウや
資金などの活用